

# 急いで不正の全容解明を リフレ上越山里振興(株)の助成金不正受給問題



円余、緊急雇用安定助成金が632万円余です。いずれも最初に不正が発生した日以降に受給した助成金の全額が不正受給額とみなされたこのことだ。

それに伴い、同社は新潟労働局からは不正受給全額だけでなく、年3%の延滞金(法定利息)と当該変換金額の2割相当額が請求されます。

市は同社に対して、早期に調査を終了させること、新潟労働局への返還金は同社が返還するよう求めたといいます。そして、同社が依頼した弁護士による調査結果を踏まえて、指定管理者としての処分、会社の在り方について検討するとしました。また、今後、「弁護士による調査結果が出るまでは、指定管理者として適当であると判断できないこと」を理由に、同社が管理している「くわどり湯ったり村」「ヨーテル金谷」「ゆったりの家」の3施設は来年1月5日から当面休館することを通知したということです。

冒頭挨拶した小田副市長は、受給した助成金などを早期に返還するように同社に働きかけていることを明らかにし、阿部産業観光交流部長が不正受給の概要、今後の対応についてなどを報告しました。報告によると、不正受給した金額は雇用調整助成金が3283万



しました。

このなかで、新潟労働局は最初の不正発生日を確認して、それ以降の申請・受給分を全額不正受給額とみなしたが、いつ、どれだけの不正があったかなどの不正の全体を調査していないことが明らかになりました。労働局は不正があったことを確認すれば、所定の手続きをするということです。となれば、実態調査は独自にすることが求められます。しかし、不正実態調査は、リフレ上越山里振興株式会社が依頼している弁護士の調査に事実上、ゆだねられた感じでした。そのため、不正金額の全体像、誰の判断で不正をしたかなどは弁護士の調査がすすまないといわれません。議員からは、「会社が依頼した弁護士だと会社の弁護をするようになるのではないかと、市独自に調査するため別の弁護士に依頼しないのか」という質問も出ました。市側は、それぞれの弁護士が調査するとなると混乱する可能性があるとして、現段階では独自に依頼する意思はないとしました。

このほか、議員からは第三セクターに、経営に精通した人がいないところがあること、市の検査体制が弱いのではといった指摘、返還金を地元だということなどで「あて

【ヤツデ】ウコギ科の常緑低木。漢字で「八手」と書きます。別名は「テングノハウチワ」。葉は大きく、人の手のように広がっています。花はウドのような形の花です。花期は10月～12月。いまは盛りです。天気の良い日には、ミツバチやハエなどが蜜を求めてやってきます。花言葉は「親しみ」「健康」です。吉川区小苗代にて21日撮影。

新年も一生懸命がんばります。  
引き続き、ご支援よろしくお願  
いします。

※「しんぶん赤旗」日曜版は1日号、8日号は合併号となっています。

※活動レポートの次号は1月15日に発行する予定です。

イラストは22日の「ほっとホットコンサート」でクリスマスソングなどを演奏する吉川中学校吹奏楽部の皆さんです。



## はしづめ法一の 活動レポート

No.2092 2023.1.1

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL http://www.hose1.jp/



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索



# 春よ来い

## 第七三九回

### 物忘れ

なーんだ、こんなところにあっただのか。なんで気づかなかったのだろう……あなたは、普段の生活の中でそう思ったことがあるりませんか。

情けないことに、私は最近、そういうことを何回か繰り返しています。

ごく最近の例で言うと、先日の夜がまさにそれでした。自宅に戻って、玄関の戸を閉めかけて、ふと思ったのです。そういえば、車のカギをどこへやったのだろう。アノラックのポケットにはない。となれば、車から玄関まで歩いている途中で落としたに違いない。

スマートフォンを点けて、探すことにしました。あいにく、雨がしとしと降っています。すぐに見つかるはずだと思います。傘もささずに二往復して探したのですが、それらしきものはとうとう見つかりませんでした。

それでもやめるわけにはいきません。今度は傘をさして探そう、そう思って、玄関わきのカギかけの場所を見ると、探していた鍵がちゃんとかかっているじゃありませんか。玄関の戸を閉める前、無意識のうちに、いつものカギかけにかけていたのです。なーんだ、こんなところにあっただのか、と思いました。

こうした物忘れは、不思議なことに、日常生活に欠かせない大事なものとかわわっていることが多いから困ります。

その一つ、免許証がそう。これは車を運転するとき絶対なければならぬものです。ところが、急いでいるときに限って免許証が見つからないことがあるのです。

もう一月ほど前のことです。ある手続きで、申請者が本人かどうかの確認のために免許証が必要でした。いつも保管している場所から出して、ポケットに入れて、用事を済ませました。

用が済んだらすぐに元に戻しておけば、

どうってことないのですが、たまたま出会った友達とおしゃべりをして、時間が流れました。そのときに「免許証をしまつことを忘れてしまった」んですね。

その日の翌日の朝がたいへんでした。服のポケットに入れておいたはずの免許証が見つからなかったのです。カバンの中、玄関脇の棚、車のボックス、イスの脇など思い当たる場所はすべて探したのですが、見つからない。それで再び、カバンの中を探しました。やはり、何回探しても見つかりません。

こうなったら免許証なしで行くしかない、と決断して、車に乗り込んだときです。いつもの免許証の場所に名刺が置いてあり、その下にちゃんとあったのです。ある人から新しい名刺を作ったと言われ、その名刺とともにいつもの場所に免許証を置いておいたのです。このときも、「なーんだ、こんなところに」でした。

財布も忘れることが多くなりました。財布はたいがいカバンの中に入れていきます。ところが、私のカバンはマジックをやる人が使うには便利な構造になっていきます。とにかくポケットが外側、内側双方にいくつもあって、しかもポケットには個性がないのです。別な言葉で言うと、入れたポケットをしっかりと覚えておかないと、どこに財布を入れたかわからなくなってしまうのです。

急いで探しているときほどカバンのマジックにかかりやすい。落ち着いて、カバンの中のポケットを端から順番に一つひとつ調べていけば、必ず見つかるはずですが、最近、マジックにかからないための別の方法を見つけました。ポケットの個性をなくするために番号をつければいいのです。

そういえば、二〇年ほど前、父も同じことをやっていました。新しい年、また一つ歳をとり、父と同じ道を歩き始めました。

## 活動レポートで選んだ2022年10大ニュース

①ロシアのウクライナ侵略に抗議のスタンディング開始 (3月)

②冬季オリンピックで日本勢活躍 (2月)



③中郷、板倉区などで大雪 (2月)

④吉川区川谷で大規模地滑り発生 (3月)



⑤市民と野党の共同候補・森ゆうこさん、僅差で涙 (7月)



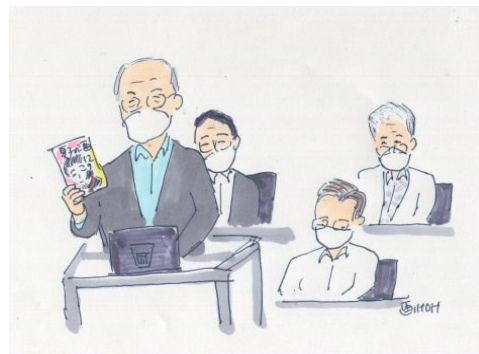
⑥「地域独自の予算」で市政に混乱 (1月から)

⑦各地で3年ぶりのイベント開催。イラストは7月の吉川テラス



⑧補聴器購入助成制度実現 (4月)

⑨(株)杜氏の郷の民間譲渡で論戦 (6月)



⑩「春よ来い」700回到達 (3月)

## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月22日(水)	12月26日(月)
上越南消防署	0.057	0.057
上越北消防署	0.050	0.040
新井消防署	0.053	0.057
頸北消防署	0.047	0.050
頸南消防署	0.067	0.067
東頸消防署	0.047	0.047
名立分遣所	0.057	0.060
高士分遣所	0.053	0.053